

九州のムラ市場 ミニアンテナショップ

当センターでは、県産品の販路拡大を図るため、県の口蹄疫復興対策運用型ファンド事業を活用し、マリノアシティ福岡にある九州のムラ市場（福岡県福岡市西区小戸）内に「みやざき物産館ミニアンテナショップ」を平成25年11月30日から平成26年3月23日までの期間限定で設置しています。

ミニアンテナショップの設置はイオン福岡東店に続き、2店舗目の設置になります。

今回は食料品のほか、みやざき犬グッズなど、企業41社約130品目（鶏の炭火焼、チキン南蛮、各種調味料、お菓子）を展示販売しています。

オープンして2ヶ月あまり経ちますが、鶏炭火焼、漬物、お菓子の人気が高いようです。当センターとしては、新たな商品の追加や展示の工夫などお客様を飽きさせない、魅力ある売場にしていきたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、店舗前にはイベントスペースがあり、実演販売が可能です。興味がある企業の方は当センターまでお問い合わせください。（企画課 松下）



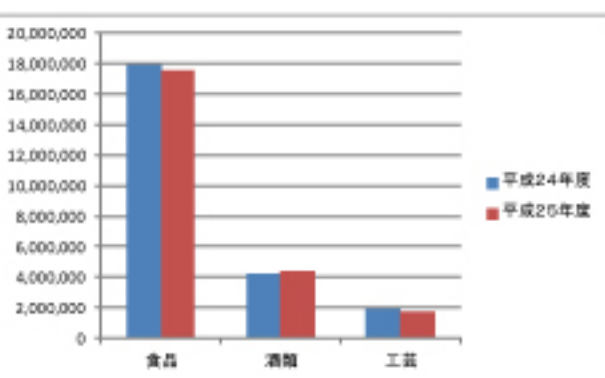
みやざき物産館の 12月の売上情報

12月の売上は昨年度とほぼ同じ売上を確保でき、前年度対比99%となっております。

前年対比では食品は1%減、酒類4%増、工芸1%減で、内容を見ますと食品ではギフト商品が売上を伸ばし、宮崎県産品の詰め合わせ等、県外に送られるお客様が多く見受けられました。酒類は焼酎類が少し苦戦しましたが、全体的には昨年を上回っております。工芸については、当館は品揃えが充実しているため記念品等に選ばれたためにご来店される方が多かったように見受けられました。

（営業課 濱田）

みやざき物産館の12月の売上比較



毎度ありがとうございます！



営業課
右松由紀子

（上司からのコメント）

一見静かでおとなしそうに見えますが、内に秘めた“やる気”は凄々たる右松さん。センターに勤め始めてまだ日は浅いですが、「いっしょいませ！」の声は一番大きい声です。コツコツと真面目に素直にがんばってくれています。これからも期待しています。（営業課 前田）



香港事務所
梁佩欣
（ブイ）

（上司からのコメント）

ブイ副所長は、若い感覚と小売業の経験で、みやざき物の装飾や運営などを一手に引き受けて頑張っています。今後は、県内企業とサプライヤーとのマッチングなどにも挑戦して貰おうと思っています。（香港事務所 水田）

会員の皆様からのコラム・ご意見を募集しています！

会員の皆様からの物産貿易振興センターに対するご意見や、商品開発、貿易等に関わるエピソードなどをお待ちしております。体裁は自由です。FAX、郵便またはメールでどうぞ。

発行 公益社団法人 宮崎県物産貿易振興センター

〒880-0804 宮崎市宮田町1番6号 県庁8号館
TEL: 0985-22-7389 FAX: 0985-22-7497
URL: http://www.m-tokusan.or.jp/
E-Mail: info-00@m-tokusan.or.jp



宮崎県物産貿易振興センター NEWS

Vol.45

～ごあいさつ～

公益社団法人宮崎県物産貿易振興センター

理事長 佐多 芳大



会員の皆様におかれましては、希望に満ちた新年を迎えられたことと存じます。

日頃から当センターの運営、事業の推進につきまして御理解、御協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、アベノミクスをはじめとする各種の政策により、景気回復への期待が高まりましたが、地方におきましては景気の回復を実感できる状況にいたっておりません。

このような中、当センターは昨年4月に公益社団法人へと移行し、6月には香港事務所を設置、新宿みやざき館 KONNEには新たに県産品販路開拓コーディネーターを設置するなど、国内外に対する県産品のPR・販路拡大に努めて参りました。

今年は、3月に宮崎から延岡までが一本の高速道路でつながり、東九州の交流が一層盛んになると思われます。また、昨年設置した香港事務所などを拠点に、拡大・発展するアジアとの経済交流が深まることが予想されます。こうした時代の流れに乗って、本県産品がさらに大きく飛躍する年になることを期待しております。

今後とも、県産品の国内外への販路開拓及び需要拡大を図るとともに、貿易の振興と県内産業の国際化の推進に全力で取り組んでまいりますので、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

みやざき物産館 KONNE 初商



ドドン ドン ドン …。平成26年の初商は桶太鼓響座の演奏で始まりました。威勢のいい太鼓の音に多数のお客様が拍手。今年が活気ある1年でありまうようにそれぞれの心に願いを込め、いざオープン!!! 先着200名様にはえびの米のプレゼント。

開店と同時にみやざき物産館オリジナル福袋にお客様が殺到。3,000円相当の県産品詰め合わせの1,050円の福袋はアツという間に150袋すべて完売となりました。

今年は特別企画ガラスアート黒木大福袋祭を開催しました。これは創作50周年を記念として企画されたものでアクセサリ類・グラス・干支・花器などがお買い得な価格でセットされ大変人気でした。佐藤工房ののさり人形の実演販売も出展いただきました。試食試飲販売も

7社ほど展開していただき、試食・試飲していただいたものは確実に数字を伸ばしていました。

初商1月2日の売上実績は2,899千円（前年比：109%）、客数は657名（前年比：105%）となりました。

なお、初商からみやざき物産館にみやざき犬の顔出しパネルを設置しました。お子さんから大人の方々までバッチリ楽しめます。皆様もぜひお楽しみください。

最後になりましたが、初商にあたりご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。（営業課 前田）



高島屋 大坂店 第23回日向自慢みやざき展

11月20日から25日までの6日間、高島屋大坂店において「第23回日向自慢みやざき展」を開催しました。

食品20社、酒類9社、工芸品12社の合計41社と前回（59社）に比べ、少ない出展数となりましたが、「みやざきで、出会う秋の新味発見！」というテーマで、みやざきの「天然の味覚」と「創作の技による味」をアピールしました。

前回と会期が変わりましたが、高島屋で開催中のお歳暮商戦と重なったことや初日及び2日目に関西圏で人気のある朝のラジオ番組で、シロチョウザメ

を使った新商品や初出展企業などが紹介されたこともあり、最終日までまずまずの出展がありました。

売上は目標額の5,000万円にわずかに届きませんでしたが、今回のみやざき展の開催により、関西地域の方々に宮崎の県産品の魅力をアピールするとともに、豊かな自然や観光地をPRできたと考えております。

今後とも、より充実した魅力ある物産展を開催し販路拡大に努めてまいりたいと考えております。

出展企業の皆様には、大変お世話になりました。（企画課 松下）



みやざきの工芸品展2013 ～宮崎の伝統と匠の共演～

10月11日から20日の10日間、宮崎空港オアシス広場にて「みやざきの工芸品展」を開催しました。「伝統的工芸品」と「みやざきの匠」の共同開催も今年で3回目を迎え、伝統的工芸品12社、みやざきの匠8社の合計20社の出展となりました。

会期が例年に比べ長かったものの、3連休を含む土日祝日が5日間あったこと、天候にも恵まれたことから、多くのお客様にご来店をいただきました。また、売上額は前回は上回る約420万円であり、韓国や中国など海外へアピールすることができました。

なお、今年は宮崎空港ビル設立50周年にあたり、これまで当ビルで伝統的工芸品展を21回開催している宮崎県伝統的工芸品産業協会に対して感謝状が贈られることになり、秋山会長をはじめ、役員3名が授与式に出席されました。

今後とも県と連携しながら、工芸品の振興に取り組んでいきたいと考えています。（企画課 松下）



シンガポール食品見本市 『Oishii JAPAN』出展

10月17日から19日の4日間、シンガポールにて開催された食品見本市『Oishii JAPAN』に宮崎県ブースを出展しました。

主催のOishii JAPAN実行委員会の発表によりますと本見本市には、26都道府県から230社の企業・団体が出展し、5,782名（2012年実績5,096名13%増）の来場者がありました。

本県からは、昨年度に引き続き2度目の出展となりますが、6企業（乳製品、調味料、酒類、青果物など）が参加し、試食・試飲を行うなど、工夫をしながら積極的に商談を行っていました。

本見本市の成果を活かし、シンガポールでの新たな販路拡大につながることを願っております。センターといたしましても引き続きサポートさせて頂きたいと思っております。（企画課 柏木）



新宿みやざき館 KONNE 通信



今年度も残すところあとわずかとなりました。

昨年12月は購買客数が微増し少し明るい兆しも見え始めました。1月に入ってもその傾向が継続しています。

さて、1月の営業では、すでに登場している日向夏に加え完熟きんかんたまの販売も開始され賑わいが出始めました。さらに客数の増加により各売場の動態も順調な推移を見せています。

前回、新宿KONNEの取組みでご紹介しましたチーム制による販促企画で、当月は2月に始まるみやざきweeekの前哨戦の意味合いを込めて「みやざき県クイズ」なる企画を実施しております。

この企画はみやざきweeekの目的である「宮崎県を知る」にスポットをあて、宮崎県に関する簡単なクイズ

を提供し興味を持つきっかけとしてもらおうというものです。配布しているクイズは三択式の12種類。例えば「昭和30年後半～40年にかけてある旅行のメッカといわれていました。その旅行は?」、「著書「死ぬまでに絶対みたい日本の絶景」で紹介された観光地は?」や「これからの季節旬となる「たまたま」とよばれる果物は?」など観光、物産のジャンルから出題しています。もちろん、店内に答えを散りばめていますので解答はすぐにわかります。お客様からは「おもしろい」と好評です。



『宮崎フェア in 台湾 (台中)』開催

2013年11月8日～17日の10日間、台湾台中市のスーパー「裕毛屋」の崇徳店・映陽店・復興店の3店舗において宮崎フェアを開催しました。

11月8日～10日の3日間は、崇徳店・映陽店で実演販売を行い、本県からは、乳製品、椎茸、調味料などを扱う企業が参加し、お客様に声をかけながら試食・試飲を積極的に行い販売しました。

10日には、河野知事がトップセールスを行い、宮崎県の食や観光についてPRしました。

また、みやざき犬の『むうちゃん』も登場し、お客様と一緒に写真を撮ったり、握手をしたり、台湾のお客様に喜んでいただきました。

次回の開催に向けてより充実した魅力あるものとなるよう、取り組みを工夫していきたいと考えております。出展された企業の皆様、お疲れ様でした。（企画課 柏木）



九州グローバル人材交流フェア 2013in 宮崎を開催

11月18日、九州グローバル人材交流フェア2013in 宮崎を開催しました。本事業は、海外展開を視野に入れる企業、留学生を対象としたもので、留学生53名、企業13社が参加。

第1部は、留学生を対象に宮崎大学においてビジネスマナー講座、第2部は宮崎観光ホテルにおいて、福岡県北九州市の（株）戸畑ターレット工作所から2名の講師をお招きし、留学生採用事例のご紹介をしていただきました。引き続き、第3部は留学生と企業との交流会を実施しました。

参加した企業は、自社の説明等を行い、留学生は、それを真剣に目差して聞いていました。今回のフェアが企業と留学生の相互理解を深める機会となり、企業の海外ビジネス展開に役立てていただければ幸いです。

（企画課 山本）

